

式 辞

【時候の挨拶、ご来賓への御礼等】

163名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

保護者の方々をはじめ、ご来賓や地域の皆さまなど、みなさんと関わり合い、成長を見守り、支えてくださった方々の温かい思いが、先ほど各クラスの代表に手渡した卒業証書に込められています。

卒業生の皆さんが、今日の卒業式を一つの節目として、支えてくださった様々な人々に、深い感謝の気持ちを持つとともに、寄せられた大きな励みや、期待に応えていこうとする決意を、新たに持ってほしいと思います。

さて、今年度は、本校創立50周年という記念すべき年。また、私自身、教育方針である“心と心が通じ合うチーム三中”を目指して、その5年目の節目の年。という2つの思いを強く持ちながら、本年度の教育活動に邁進してまいりました。

皆さんは、一人ひとりが持てる力を十分に発揮し、義務教育9年間の総まとめにふさわしい生徒に成長しました。時に、皆さんが一生懸命活動し表現する姿は、多くの方々へ感動を与えました。皆さんには、大人の私たちの心を揺さぶる、日々の爽やかな挨拶。人懐っこい笑顔。そして、誠実さと明るさがありました。私は、この男山第三中学校で、この記念すべき節目の年に、皆さんと出会えたこと、一緒に過ごすことができたことを、本当に嬉しく思うとともに、皆さんを誇りに思います。

皆さんは、学習にスポーツに、また、生徒会活動や各行事に、よく努力し素晴らしい成果を上げ、本校の良き伝統や校風を守り育ててくれました。

まだ残暑厳しい頃の文化発表会。何回も何回も歌い込み、合唱を仕上げました。校長室に皆さんの歌声が聞こえ、校舎に歌声が響き渡るこの学校が、私は大好きでした。きっと、1、2年生は、「あんな3年生のような合唱ができるようになりたい」と強く思ったはずです。また、山の紅葉が始まった頃の体育大会。限られた時間と準備の中で、縦割り集団をまとめ、体育大会を成功させようと、3年生全員が全力で取り組み、一体感のある素晴らしい体育大会を作りあげてくれました。

そして部活動。暑さも寒さも、喜びも悲しみも、楽しさも悔しさも味わい、この3年間で学んだことは多かったことでしょう。また同時に、かけがえのない仲間を得たことでしょう。私は、全ての部活動の試合の応援に駆けつけましたが、皆さんの活躍によって、綴喜大会から始まり、山城大会、府・全国大会へと男山第三中学校みんなの夢を運んでくれました。

また、進路実現に向け、力をつけるための地道な取り組みや、数々のテストへの挑戦など、学習面でも、大変よく頑張りました。そして、三中の悪しき伝統である“受験前の遅刻・欠席の多さ”も皆さんが克服してくれました。

みなさんとの思い出は尽きません。

私は、皆さんだからこそ、この伝統ある男山第三中学校を前に進めることができたと思っています。ここまで学校を引っ張ってきてくれて、ありがとうございました。

この三年間、小学校でコロナの影響を受けたこの学年がどうなっていくのか。非常に心配な思いで見守ってきましたが、ここまで本当によく頑張ったと思います。

その生徒達を、主任の 小椋 太一 先生をリーダーとする学年の先生方が、どんな時も子どもたちを見放さずに寄り添い、素晴らしいチームワークで子ども達をサポートし、支え続ける姿がありました。本当によく頑張ってくださいました。「心と心が通じ合うチーム第3学年」を見事に体現してくれた学年だと思います。

ここで、保護者の皆さまおよびご来賓の皆様にお願いがございます。

この学年集団の3年間の健闘と頑張りを讃えて、私と一緒に、どうぞ大きな拍手をお願いいたします。

ありがとうございました。

さて、三年生の皆さん、いよいよこの男山第三中学校を旅立つときがきました。旅立ちに際して、私が毎年卒業生に送る誌を、今年も皆さんにも送ります。

「夢は、美しく大胆でありたい。

されど、夢破れし時は

その悲しみに耐えうるだけの

人でありたい」 リポート

人は、夢があるからこそ、その目標に向かって努力し、自分自身を立志鍛錬することができます。しかし、これから皆さんが歩む人生には、進もうとしている道に大きな山や大きな壁が立ちだかる事があります。時には、その山や壁を越えることができず、挫折感を味わうことがあるかもしれません。そんな時は我慢せず、涙し、悲しみ抜き、周りの人たちにも助けを求めれば良いと思います。

ですが、そんなどん底の状態に耐え、その状況から這い上がることができれば、人はまた、新たな夢を持ち、前を向いて頑張ることができる。そんな思いがこの誌には込められていると、私は理解しています。私自身、挫折しそうになった時、何度も心の中でこの誌を繰り返し、自分自身に言い聞かせることで、乗り越えることができました。

皆さん、どうぞ美しく大胆な夢を持って、これからの人生を歩んで下さい。皆さんの夢が、叶う事を心から祈っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、まことにおめでとうございました。15年という長い歳月にわたり、溢れんばかりの愛情で慈しみ、育ててこられたお子様が、今日このように立派に本校を卒業いたします。誕生したその時から今日まで、様々な出来事があったはずですが、その、一つ一つを乗り越え、克服し、今日の日を迎えられたのではないのでしょうか。皆様のご努力と深い愛情に敬意を表すると共に、本校の教育へのご理解・ご支援に感謝しつつ、心よりお祝いを申し上げます。

卒業後はそれぞれの進路に向かって歩られますが、保護者の皆様の、より一層の励ましの中で、ますます大人として成長されるものと期待しております。この三年間で培った“チーム三中の絆”は、これから先も切れることはありません。お子様の身に何かあった折りには、お気軽に三中にお越し下さい。

それでは163名の卒業生の皆さん、皆さんには必ず明るい未来が待っています。これからの社会はグローバル化が進み、世界中の人たちと協力することが必要になると思います。広い視野に立ちながらも、自分の良さや個性を伸ばし、将来の社会を支える人になって下さい。

皆さんの前途に、幸多からんことをお祈りして、私の式辞といたします。

令和七年三月十四日

八幡市立男山第三中学校

校長 山下 信之